満足度が証明 子育てするなら柏崎

満足度 98.8% 妊産婦・子どもの医療費助成



妊産婦医療費助成

母子健康手帳の交付を受けた日から出産した月の翌月末日までに、妊産婦の医療費を助成します。

子どもの医療費助成

出生日または転入日から高校卒業（18歳到達年度末）まで、お子さんの医療費を助成します。

【自己負担額】
■通院　1回 530円　　■入院　1日 1,200円
■薬代　無料 など

満足度 97.5% 1・2歳児の保育料無料化



令和5（2023）年から、世帯収入にかかわらず、1・2歳児の保育料を無料化（給食費相当分の負担あり）。平均で子ども1人当たり約24万円/年の負担軽減となり、保育料の心配を減らし、安心して働きながら子育てができます。



満足度 95.6% 子育て応援券・家庭養育応援券

さまざまな子育て支援サービスなどに利用できる子育て応援券（かしわ★ざ★キッズ！スターチケット）を、0～3歳までのお子さんのいる世帯を対象に毎年支給します。令和8（2026）年から支給額を1,000円増額し、11,000円となりました。電子チケットにも対応しています。

また、令和6（2024）年4月からは、1～5歳児の未就園のお子さんを育てている世帯に月5,000円分の「家庭養育応援券（かしわ★ざ★キッズ！スターチケット@ホーム）」を支給しています。

おむつや
インフルエンザ予防接種
などにも使える







※満足度は令和8（2026）年6月にアンケート実施。該当サービスに対して「役立っている」「どちらかと言えば役立っている」との回答割合。

満足度 81.6% 無料で遊べる 子どもの屋内遊び場施設 キッズマジック







柏崎ショッピングモールフォンジェ内の屋内遊び場施設「キッズマジック」を令和6（2024）年4月に市営化し、利用料を無料にしました。また、令和7（2025）年に子どもたちが「柏崎の木」のぬくもりを感じることのできる「木育エリア」をはじめ、四つの多彩な遊び空間を持つ施設にリニューアル。施設面積も約2倍に拡張しました。リニューアル後、市民の利用は民営時の2.5倍となり、少子化が進む状況において大幅に増加しました。



こんなにあるの？
ライフステージや目的に合わせた子育て支援



妊娠・出産
- 歯周病検診無料クーポン
- 妊産婦医療費助成
- 妊婦のための支援給付
- 不妊・不育症治療費助成

など



乳幼児期
- 子育て応援券「スターチケット」
- 子どもの医療費助成
- 子育て支援室
- 各種健診・予防接種

など



保育・預かり
- 1・2歳児保育料無料化
- 病児保育
- ファミリー・サポート・センター
- 育児支援ヘルパー

など



小学生以降
- 児童クラブ
- 子どもの医療費助成
- 就学援助
- 学力向上推進プロジェクト

など

かしわざき子育てガイドブックがリニューアル！

妊娠・出産・成長・健康・保育などに関わる制度や子育て情報をまとめました。今の自分に合うサポートを探すのにピッタリの1冊です。



柏崎市子育て応援サイトはこちら



小学 6 年の学力

国語…全国平均より+1.2pt

算数…全国平均より+3.5pt

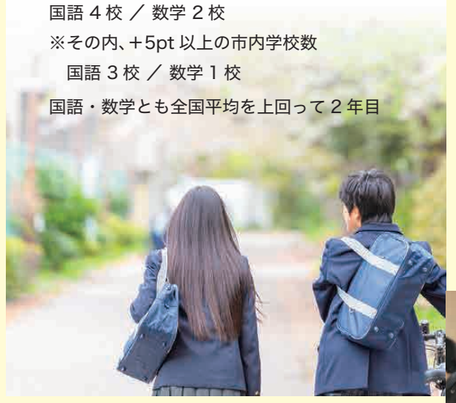
全国平均より＋3pt 以上の市内学校数
国語 4 校 ／ 算数 9 校
※その内、＋5pt 以上の市内学校数
　国語 3 校 ／ 算数 7 校
国語・算数とも全国平均を上回って 4 年目

中学 3 年の学力

国語…全国平均より+1.9pt

数学…全国平均より+0.3pt

全国平均より＋3pt 以上の市内学校数
国語 4 校 ／ 数学 2 校
※その内、＋5pt 以上の市内学校数
　国語 3 校 ／ 数学 1 校
国語・数学とも全国平均を上回って 2 年目



全国平均を超える学び

※令和 8 (2026)年4月実施
　全国学力・学習状況調査より

柏崎市では、将来自分の夢をつかみ取れる子どもを育むことを目的に令和4（2022）年に「学力向上推進プロジェクト」を立ち上げました。その成果として、現在小学6年・中学3年ともに学力が全国平均を上回っています。



アンケート結果から

・先生は、分かるまで教えてくれていると思う

小学校 91.3%（全国平均より＋4.0%）

中学校 90.7%（全国平均より＋5.5%）

学力向上推進プロジェクトの取り組み

1. 学習環境と教職員研修の充実

・指導補助員や学習指導非常勤講師を配置
・学習用タブレットや電子黒板の導入と活用
・授業の達人による示範授業研修を開催し、教員の授業力を向上

2. データに基づく学力分析と個別最適化

・学力調査の結果に対して独自分析シートにより、児童生徒の学力の経年変化を客観的に把握
・AIドリルを活用し、一人一人の課題に応じた補充問題を提供

3. 授業づくりを中核とした組織的な実践

・授業のねらいを明確にするための市独自の指導案形式の提案
・「柏崎授業づくりゼミ」を立ち上げ、実践研究と授業改善を継続

4. 全国へ広がる柏崎の授業づくり

・「柏崎授業づくりゼミ」の実践やノウハウを体系化
・オリジナル冊子『夢を描く、体系的な授業づくりハンドブック』を制作。これは全国の学校や教員研修でも活用されている

住み続けたいまちへ



AI 新交通「あいくる」がつなぐ、柏崎の暮らし

柏崎市AI新交通「あいくる」は、AIを活用した予約型の乗り合い交通。自宅近くの乗降ポイントから、通院や買い物など、日々の暮らしに必要な場所へ移動できる便利な交通手段として、令和5（2023）年に運行を開始しました。市内約760カ所に乗降ポイントを設け、きめ細かな移動サービスを提供しており、現在は1日140人を超える方から利用されています。地域の特性や利用状況に合わせて運行エリアを順次拡大しており、将来的には市内全地域への展開を目指しています。「あいくる」は市民の身近な移動を支える新たな足として、これからも利便性の向上に取り組み、地域の暮らしをつないでいきます。







コツコツ貯筋体操で未来につなぐ運動習慣

コツコツ貯筋体操は、足腰の筋力と柔軟性を向上させ、転倒しにくい体をつくることを目的とした柏崎市のオリジナル体操です。町内会やくらしのサポートセンターなどで行われており、令和7（2025）年度は、市内184会場で延べ約10万人が実践。年を重ねても住み慣れた場所で安心して過ごせる地域づくりを担う、重要な活動となっています。

医療環境の充実へ 研修医の海外研修費を補助

市内で必要な医療を受けられるよう、医療を担う人材の育成・確保に力を入れています。基幹的病院である柏崎総合医療センターに着任する臨床研修医を増やすため、研修医が国内研修や海外留学を行う経費を補助するなど、魅力ある研修環境の整備に努めています。令和4（2022）年4月から令和8（2026）年4月までに20人の研修医が着任し、そのうち2人はジョンズ・ホプキンス大学などの海外大学院で公衆衛生を学び、地域医療を担う人材として活躍しています。

また、市内には国立病院機構新潟病院附属看護学校があり、1学年約40人の学生が3年間にわたり、看護師に必要な知識や技術の習得に励んでいます。市では、看護学校に入学した学生への祝い金支給や学校運営への支援を行い、将来、市内の病院に勤務する看護師の育成・確保に取り組んでいます。この他、新潟大学と連携し、産婦人科医の確保に努め、市内で安心して出産できる体制を維持しています。



